

【資料】岡山地方気象台から発表される注意報

注意報・警報等の種類	概要及び発表基準
注意報	大雨による災害発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には別表1のいずれかの条件に該当すると予想される場合である。
	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には別表3のいずれかの条件に該当すると予想される場合である。
	大雪により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には次の条件に該当する場合である。 24時間の降雪の深さが平地で10cm以上、山地で30cm以上になると予想される場合
	強風により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には次の条件に該当する場合である。 平均風速が12m/s以上になると予想される場合
	雪を伴う強風により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には次の条件に該当する場合である。 雪を伴い、平均風速が12m/s以上になると予想される場合
	濃い霧により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には次の条件に該当する場合である。 視程が100m以下になると予想される場合
	落雷により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。また、発達した雷雲の下で発生することの多い突風や「ひょう」による災害についての注意喚起が付加されることもある。急な強い雨への注意についても雷注意報で呼びかけられる。
	空気の乾燥により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には火災の危険が大きい気象条件を予想したときで、次の条件に該当する場合である。 最小湿度が35%以下で、実効湿度が60%以下になると予想される場合
	「なだれ」により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には次のいずれかの条件に該当する場合である。 ①積雪の深さが20cm以上あり、降雪の深さが30cm以上になると予想される場合 ②積雪の深さが50cm以上あり、最高気温が12℃以上、又はかなりの降雨が予想される場合 ※気温は岡山地方気象台、津山特別地域気象観測所の値
	著しい着氷により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、通信線や送電線、船体等への被害が起こるおそれのあるときに発表される。

	着雪注意報	著しい着雪により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には通信線や送電線、船体などへの被害が起こるおそれのあるときで、次の条件に該当する場合である。 24 時間の降雪の深さが平地で 10 cm以上、山地で 30 cm以上で、気温が−1°Cから3°Cになると予想される場合
	融雪注意報	融雪により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、浸水、土砂災害等の災害が発生するおそれがあるときに発表される。
	霜注意報	霜により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には 4 月以降の晩霜で農作物への被害が起こるおそれのあるときで、次の条件に該当する場合である。 最低気温が 2°C以下になると予想される場合
	低温注意報	低温により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には、低温のために農作物等に著しい被害が発生したり、冬季の水道管凍結や破裂による著しい被害の起こるおそれがあるときで、次の条件に該当する場合である。 最低気温 − 3°C以下 ※気温は岡山地方気象台の値

注意報・警報等の種類		概要及び発表基準
警報	大雨警報	雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。大雨警報には括弧を付して、大雨警報（土砂災害）、大雨警報（浸水害）、大雨警報（土砂災害、浸水害）として、特に警戒すべき事項が明記される。具体的には別表 2 のいずれかの条件に該当すると予想される場合である。
	洪水警報	大雨、長雨、融雪などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。対象となる重大な災害として、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害が上げられる。具体的には別表 4 のいずれかの条件に該当すると予想される場合である。
	大雪警報	大雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には次の条件に該当する場合である。 24 時間の降雪の深さが平地で 30 cm以上、山地で 60 cm以上になると予想される場合
	暴風警報	暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。具体的には次の条件に該当する場合である。 平均風速が 20m/s 以上になると予想される場合
	暴風雪警報	雪を伴う暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。「暴風による重大な災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害などによる重大な災害」のおそれについても警戒を呼びかける。具体的には次の条件に該当する場合である。 雪を伴い、平均風速が 20m/s 以上になると予想される場合

- 注) 1. 発表基準欄に記載した数値は、岡山県における過去の災害発生頻度と気象条件との関係を調査して決めたものであり、気象要素によって災害発生を予想する際の具体的な目安である。
2. 注意報・警報は、その種類にかかわらず解除されるまで継続される。また、新たな注意報・警報が発表されるときは、これまで継続中の注意報・警報は自動的に解除又は更新されて、新たな注意報・警報に切り替えられる。